

不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関  
 (手術により精子の採取を行う医療機関)における情報提供様式(必須記載)

医療機関名: 医療法人かんとクリニック

配置人員 (※1)	泌尿器科専門医		( 1 ) 名
	うち、生殖医療専門医		( 1 ) 名
	看護師		( 4 ) 名
	コーディネーター		( ) 名
	カウンセラー		( ) 名
治療内容 (※2)	治療の種類	年間実施件数 (2021年)	費用
	精巣内精子回収術	( 8 ) 件	(264,680) 円
実施事項	医療安全管理体制が確保されている		
	①	医療に係る安全管理のための指針を整備し、医療機関内に掲げている	(はい)/いいえ)
	②	医療に係る安全管理のための委員会を設置し、安全管理の現状を把握している	(はい)/いいえ)
	③	医療に係る安全管理のための職員研修を定期的に実施している	(はい)/いいえ)
	④	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策を講じている	(はい)/いいえ)
	⑤	自医療機関において保存されている精子の保存管理及び記録を安全管理の観点から適切に行っている	(はい)/いいえ)
	倫理委員会を設置している ※委員構成等については、公益社団法人日本産科婦人科学会の会告「生殖補助医療実施医療機関の登録と報告に関する見解」に準ずる		(はい)/いいえ)
	公益財団法人日本医療機能評価機構の実施する医療事故情報収集等事業に登録・参加している		(はい)/いいえ)
	不妊治療にかかる記録については、保存期間を20年以上としている		(はい)/いいえ)
里親・特別養子縁組制度の普及啓発等や関係者との連携を実施している		(はい)/いいえ)	

毎年3月1日時点の状況について記載すること。

ただし、「年間実施件数」については、記載可能な直近の1年間のものを記載すること。

(※1)

- ・不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関における設備・人員等の指定要件に関する指針(別紙)の「実施医療機関の配置すべき人員の基準」を遵守し、正確に記載すること。
- ・人員の算出は、常勤換算で行うこと。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している医師を常勤医師とし、その他は非常勤医師として常勤換算する。(医療法第25条第1項)
- ・コーディネーターおよびカウンセラーについては、泌尿器科専門医・看護師が兼務する場合には、コーディネーターおよびカウンセラーには含めないこと。

(※2)

- ・精巣内精子回収術は、SimpleTESEをさす。費用については、手術にかかる標準的な費用を記載すること。

別紙1-2

不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関における情報提供様式（任意記載）

医療機関名：医療法人かんとくクリニック

治療実績について

（記載様式）

当院において、データの揃っている直近の1年間（2019年1月から2019年12月まで）に、治療開始時点において35歳以上40歳未満である女性に対して実施した治療の実績は以下の通りである。

【新鮮胚（卵）を用いた治療成績】

	IVF-ET	Split	ICSI	合計
採卵総回数（回）				
移植総回数（回）				
妊娠数（回）				
生産分娩数（回）				
移植あたり生産率（%）				

IVF-ET：採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精を実施

Split：採卵により得られた卵子に対し、体外受精と顕微授精に分けて実施

ICSI：採卵により得られた全ての卵子に対し、顕微授精を実施

【凍結胚を用いた治療成績】

	融解胚子宮内移植
移植総回数（回）	
妊娠数（回）	
生産分娩数（回）	
移植あたり生産率（%）	

来院患者情報

データの揃っている直近の1年間（2019年1月から2019年12月まで）に精巣内精子採取術を行った患者数（実数）は

20歳未満：（ 0 ）名

20歳以上30歳未満：（ 5 ）名

30歳以上40歳未満：（ 27 ）名

40歳以上50歳未満：（ 4 ）名

50歳以上：（ 1 ）名

\* 精巣内精子採取術は simple-TESE・micro-TESE の合計実数です。

## 治療指針について

- ・ 禁煙、食事指導など生活習慣の改善を含めた生活指導
- ・ 夫の検査結果や妻の年齢・治療内容を考慮し、ステップアップやステップダウンの提案
- ・ 夫の状況によって精巣内精子回収術の内容を検討 (simple-TESE ではなく micro-TESE の提示など)